

野忠弁護士の話 元警部の 事件で無罪となる場合は、一部無罪には「市民目線の判決」といえる新しい傾向がみえる。被告が否認し、事実上、被害者供述だけが犯

被害者供述の「信用性」が 制度の導入によって、多様な市民の目線にたえられるような確たる証拠を求める。裁判官の姿が感じられる。

学 検 裁 懲 い

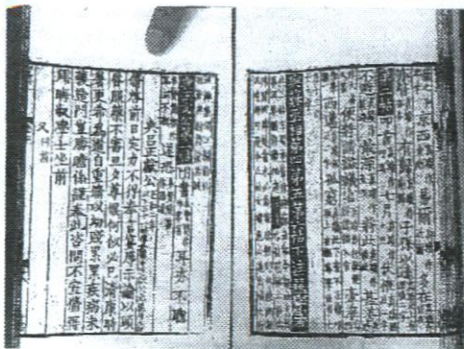
# 中国北宋の文人

## 11世紀の欧陽修

# 新たに書簡96編

中国の北宋時代の文人、政治家の欧陽修(1007～1072)の未確認の書簡96編が、天理大学付属天理図書館所蔵の全集「欧陽文忠公集」に載っていることがわかった。東英寿・九州大大学院教授(文学)が、見つけた。8、9日に福岡市東区の九大箱崎キャンパスで開かれる日本中国学会で発表する予定。

欧陽修は、詩や文章を考えるのもっとも適した場所として馬上、枕上、厠上の「三上」を挙げたことで知られる。中国では中学や高校の教科書に必ず出てくる歴史上の有名な



「欧陽文忠公集」の天理本のコピー。指さしているのが新たに確認された書簡部分の一部＝福岡市西区の九州大

### 九大院教授、天理大所蔵文書から発見

人物だ。「日本では紫式部がいた時代。千年の時を経て中国の偉人の新しい資料が見つかったインパクトは大きい」と東教授は話す。

「欧陽文忠公集」は欧陽修の死後に編まれ、木版で印刷された。全153巻のうち10巻が友人、知人への書簡。編集後に見つかった書簡は新たに印刷する時などに付け加えられた。明の時代に編まれ、書簡472編を収めた「公集」が、いわば決定版とされてきた。

東教授は、北京の中国国家図書館の所蔵本(国家本)と天理図書館の所蔵本(天理本)がともに南宋時代の慶元2(1196)年の印刷でありながら木版を彫った人物の署名が違ふことから内容と比較。国家本にはない書簡96編が天理本にはあることがわかった。この96編は明の時代のものにも含まれていない。

仲のよい友人にあてては、官吏登用試験の科挙で、貴族の書く装飾的な文章ではなく、中身のあるわかりやすい文章を書いた者により成績を与えたという内幕を書いているとい

(宮崎健二)

九、もて、と、特、士、法、が、た、ば、う、に、由、県、と、人、は